

3月3日(日) 浦佐毘沙門堂裸押合大祭が行われました

普光寺で浦佐毘沙門堂裸押合大祭が開催されました。この祭礼では、身を切る寒さのなか水行で身を清めた上半身裸の男たちが五穀豊穰などを祈願して押し合います。約1,200年の歴史を持つといわれるこの祭は、江戸時代に出版された「北越雪譜」にも「堂押」として記録され、国の重要無形民俗文化財に指定されています。

上半身裸の男たちは毘沙門堂内で体から湯気と熱気を立ち昇らせながら押し合い、その様子をひと目見ようと多くの来場者がありました。3月2日(土)の前夜祭とあわせて2日間で延べ115,000人もの人が訪れました。



2月27日(水) 第二上田小学校で特産品を通じた食の交流が行われました

第二上田小学校で岩代小学校〔和歌山県みなべ町〕から贈られた特産品の梅干しを通じて、食の交流が行われました。両校は、お互いのまちを訪問してそれぞれの地域や産業について学んだり、手作りの特産品を贈り合うなどして交流を続けてきました。

今回、岩代小学校の児童たちが梅の収穫から携わった手作りの梅干しが、一番おいしい時期といわれる2月に贈られました。児童たちは「手作りの梅干しはすっぱいけどおいしい」「お米と梅干しは相性がいいのでごはんがすすむ」など感想を語りました。



2月21日(木) 南魚沼市交流大使の委嘱式を行いました

南魚沼市のさまざまな魅力を伝え、観光客を含む交流人口の拡大を目的とした南魚沼市交流大使に大塚椎菜さんを委嘱しました。

大塚さんは市内出身で、2017ミス・アース・ジャパンの新潟県代表に選ばれました。環境省のウォームビズに関するCM出演や市観光パンフレットなど市内外でモデル・タレントとして多彩な活動をされています。

この日は、市役所で初めて開催したMSGカフェにも訪れ、生徒たちと笑顔で会話しながらおいしいコーヒーを楽しみました。



2月21日(木) 市役所にMSGカフェがオープンしました

市役所に初めてMSGカフェがオープンしました。

MSGカフェは、市立総合支援学校が校外学習の一環として運営するカフェです。高等部の生徒たちがカフェのスタッフとなり、地域の人たちと交流することで、社会参加への積極性や社交性を高め、卒業後にも役に立つ接客やサービスを学ぶことなどを目的としています。

通常は、図書館などを会場にカフェを開催しています。今回は、より多くの方々に知ってもらおうと市役所本庁舎の市民ホールで開催しました。



2月16日(日) 第35回しおざわ雪譜まつりが開催されました

ふれあい広場を主会場に、第35回しおざわ雪譜まつりが開催されました。この祭は、雪国の文化などを記した書籍「北越雪譜」の著者 鈴木牧之の功績をたたえるものです。

来場者は着物ショー、歌舞伎公演、福餅まき、百八灯大護摩、南魚沼市交流大使で歌手の葉月みなみさんらによるステージイベント、地酒・甘酒・焼き餅のふるまいを楽しみました。歌舞伎公演には、林市長が初出演し来場者から大きな拍手を浴びていました。雪が舞い落ち、ろうそくの炎がゆらめく幻想的な雪国の情景に多くの人が魅了されていました。

